年金記録訂正請求書 兼 年金記録に係る確認調査申立書 【 国 民 年 金 】

- (太枠)内の白い欄の事項を記入してください。
- (点線枠)内の欄の事項は、記入することが難しいときは記入せずに、次に進んでください。
- (網掛け)欄は、記入しないでください。
- ※印は記入上の注意をご参照ください。

01 制度区分	1 国 年	02 処理区分	1 厚生局処理	2 年金機構処理
③ 請求区分	1 初めての請求 2 2回目以上の請求 注) 過去に総務省年金記録確認第三者委員会へ年金記録の確認申立を行ったことがある方で、厚生労働大臣への訂正請求が初めての方は3を、2回目以上の方は4を選択してください。		3 初めての請求(総務省への申立あり) 4 2回目以上の請求(総務省への申立あり)	
④ 請求者(※)の基礎年金番号等	(フリガナ) (姓) (名)			05 番号区分
⑥ 請求者の氏名				基 国 厚 船 不 礎 年 年 保 明 番 手 手 手 手 号 番 番 番 番 1 2 3 4 5
⑦ 請求者の生年月日	明 大 昭 平 令 1 3 5 7 9	年 月 日	⑧ 請求者の性別	男 女 1 2
⑨ 請求者の住所	〒 都道府県 市区町村			
⑩ 連絡先(電話番号)※	— (自宅 携帯 職場 その他)			
	— (自宅 携帯 職場 その他)			
⑪ 被保険者等(※)との関係	1 被保険者等本人	3 被保険者等の遺族	⑫ 請求手続の委任 ※	なし あり 1 2
⑬ 社会保険労務士記載欄	(社会保険労務士名・連絡先)		⑭ 社会保険労務士へ委任	なし あり 1 2

- 訂正請求する年金記録の被保険者等が請求者と異なるときは、下欄に記入してください。

⑮ 被保険者等の基礎年金番号等	(フリガナ) (姓) (名)			16 番号区分
⑰ 被保険者等の氏名				基 国 厚 船 不 礎 年 年 保 明 番 手 手 手 手 号 番 番 番 番 1 2 3 4 5
⑱ 被保険者等の生年月日	明 大 昭 平 令 1 3 5 7 9	年 月 日	⑲ 被保険者等の性別	男 女 1 2
20 被保険者区分	1 裁定済みの者 2 全部認容の場合、老齢年金の保険料納付要件を満たす者 3 左記以外の者			

(受付印欄)

- 年金記録の訂正を求める期間について、下記の〈請求期間欄1・2〉に記入してください。
- 請求期間欄が足りないときは、別紙(様式第1号の1の2)をご利用ください。

〈請求期間欄 1〉

㉗ 請求期間 ※	昭 平 令	年	月	日	~	昭 平 令	年	月	日
	5	7	9			5	7	9	

㉗について、記入することが難しいときは、記入していただくなくても構いません。

㉗ 請求期間の分類	<p>現在、国(厚生労働省・日本年金機構)が管理している年金記録が事実と異なると思う点は何ですか。該当する□に✓印を付けてください。</p> <p>☐ 請求期間が保険料未納となっているが、保険料を納付した。 納付した保険料の種類(※)について、ア~オに○印を付けてください。 ア 現年度保険料 (1) イ 過年度保険料 (2) ウ 特例納付保険料 (3) エ 追納保険料 (4) オ 不明 (5)</p> <p>☐ 請求期間が付加保険料(※)未納となっているが、付加保険料を納付した。(6)</p> <p>☐ 請求期間が保険料未納となっているが、全額免除の期間だった。(7)</p> <p>☐ 第3号被保険者(※)に該当した年月日又は該当しなくなった年月日が違う。(8)</p> <p>☐ 国民年金に加入した年月日又は脱退した年月日が違う。(9)</p> <p>☐ その他 (10)()</p>	
ウ 減額作用の請求	1 納付済期間短縮の請求 2 免除期間の短縮の請求	3 その他()
エ 請求期間の記録状況	1 加入・未納期間 2 強制被保険者未加入期間 3 任意加入被保険者未加入期間 4 全額免除期間 5 一部免除・未納期間 6 一部免除・納付済期間 7 納付済期間	8 付加保険料納付済期間 9 第3号被保険者期間 10 厚生年金保険被保険者期間 11 共済組合員期間 12 保険料還付済期間 13 初めて国民年金に加入した月を含む期間 14 その他()

㉘、㉙、㉚について、記入することが難しいときは、記入していただくなくても構いません。

㉗ 請求期間に住 民票を登録して いた市町村	都 道 府 県	市 区 町 村	カ 管轄年金事務所	年金事務所
㉘ 請求期間に実 際に居住していた 市町村又は国名 (国名)	都 道 府 県	市 区 町 村	ク 管轄年金事務所	年金事務所
㉙ 特例納付を行った ときに居住していた 市町村又は国名 (国名)	都 道 府 県	市 区 町 村	コ 管轄年金事務所	年金事務所

〈請求期間欄 2〉

㉛ 請求期間 ※	昭 平 令	年	月	日	~	昭 平 令	年	月	日
	5	7	9			5	7	9	

㉛について、記入することが難しいときは、記入していただくなくても構いません。

㉛ 請求期間の分類	<p>現在、国(厚生労働省・日本年金機構)が管理している年金記録が事実と異なると思う点は何ですか。該当する□に✓印を付けてください。</p> <p>☐ 請求期間が保険料未納となっているが、保険料を納付した。 納付した保険料の種類(※)について、ア~オに○印を付けてください。 ア 現年度保険料 (1) イ 過年度保険料 (2) ウ 特例納付保険料 (3) エ 追納保険料 (4) オ 不明 (5)</p> <p>☐ 請求期間が付加保険料(※)未納となっているが、付加保険料を納付した。(6)</p> <p>☐ 請求期間が保険料未納となっているが、全額免除の期間だった。(7)</p> <p>☐ 第3号被保険者(※)に該当した年月日又は該当しなくなった年月日が違う。(8)</p> <p>☐ 国民年金に加入した年月日又は脱退した年月日が違う。(9)</p> <p>☐ その他 (10)()</p>	
-----------	---	--

ス 減額作用の請求	1 納付済期間短縮の請求 2 免除期間の短縮の請求	3 その他()
セ 請求期間の記録状況	1 加入・未納期間 2 強制被保険者未加入期間 3 任意加入被保険者未加入期間 4 全額免除期間 5 一部免除・未納期間 6 一部免除・納付済期間 7 納付済期間	8 付加保険料納付済期間 9 第3号被保険者期間 10 厚生年金保険被保険者期間 11 共済組合員期間 12 保険料還付済期間 13 初めて国民年金に加入した月を含む期間 14 その他()

㉞、㉟、㊱について、記入することが難しいときは、記入していただかなくても構いません。

㉞ 請求期間に住 民票を登録して いた市町村	都道府県	市区町村	タ 管轄年金事務所	年金事務所
㉟ 請求期間に実 際に居住していた 市町村又は国名 (国名)	都道府県	市区町村	ツ 管轄年金事務所	年金事務所
㊱ 特例納付を行った ときに居住していた 市町村又は国名 (国名)	都道府県	市区町村	ト 管轄年金事務所	年金事務所
			別紙の有無	有 無

○ 下欄の＜同意欄＞に氏名をご記載いただきますと、日本年金機構(年金事務所)で年金記録の訂正が可能な場合、速やかに処理することができます。

＜ 同 意 欄 ＞

年金記録の訂正請求に関して、以下の事項について同意します。

- 全部の請求期間について、私の請求どおり日本年金機構で訂正処理することができる場合は、本件訂正請求は取り下げること。
- 一部の請求期間について、私の請求どおり日本年金機構で訂正処理することができる場合は、その請求期間については厚生労働大臣への訂正請求は行わないこと。

請求者の氏名

■ 添付書類

請求するときは、以下の書類を添付してください。

- ◇ 請求の概要(2-1)[国民年金](様式第2号の1)
- ◇ 請求者の同意書(様式第12号の1又は第12号の2)
- ◇ 請求手続を他者に委任される場合は、委任状(様式第12号の4)
- ◇ 請求手続を法定代理人又は任意後見人がされる場合は、法定代理人又は任意後見人であることを明らかにする戸籍謄本、登記事項証明書など
- ◇ 請求者が被保険者又は被保険者であった者(以下「被保険者等」といいます。)の死亡に伴う給付の受給権者である場合は、以下のいずれかの書類
 - 遺族基礎年金の年金証書、未支給年金支給決定通知書など、請求者が被保険者等の死亡に伴う給付の受給権者であることを明らかにすることができる書類の写し
 - 年金証書等添付不能理由書(様式第4号)

- ◇ 請求者が被保険者等の死亡に伴う給付の受給権者であるかどうか不明な場合は、戸籍の謄本(又は法定相続情報一覧図の写し)、住民票(世帯全員)などの写しが必要ですが、詳しくは年金事務所にお問い合わせください。
- ◇ 請求者が被保険者等の死亡に伴う給付の受給権者であるかどうか不明な場合であって、かつ、請求者と被保険者等が事実上の婚姻関係にあった場合は、両者の戸籍の謄本(又は法定相続情報一覧図の写し)、住民票(世帯全員)などの写しが必要ですが、詳しくは年金事務所にお問い合わせください。

以下のような書類をお持ちのときは、写しを添付してください。

- ◇ 日本年金機構が交付した「国民年金保険料納付記録の照会について(回答)」の写し
- ◇ 国民年金手帳、年金手帳、基礎年金番号通知書
- ◇ 請求期間に係る預金通帳、金融機関が証明する出金記録
- ◇ 請求期間に係る確定申告書(控)等税務関係資料、社会保険料控除の明記された課税証明書・所得証明書
- ◇ 請求期間に係る納付組織代表者等の預かり証
- ◇ 請求期間に係る家計簿、日記、メモ等

■ 記入上の注意

- ◆ 「請求者」とは、国民年金の被保険者等、又は被保険者等の死亡による未支給年金若しくは遺族年金等の受給権者である遺族をいいます。
- ◆ 「⑩ 連絡先(電話番号)」は、平日の日中に連絡が可能な電話番号をご記入ください。
- ◆ 「被保険者等」とは、国民年金の被保険者又は被保険者であった者をいいます。例えば、死亡した夫の年金記録について妻が訂正請求をする場合、死亡した夫が被保険者等であり、請求者である妻は「3被保険者等の遺族」です。ご自分の年金記録について請求するときは、請求者が「1 被保険者等本人」です。
- ◆ 「⑫ 請求手続きの委任」は、家族等に請求手続きを委任される場合、又は法定代理人若しくは任意後見人が請求手続きをされる場合は「あり」に○印を付けてください。
- ◆ 「請求期間」(㊷、㊸)は、国(厚生労働省・日本年金機構)が管理している年金記録に過不足している期間、又は保険料の納付状況を訂正する期間について記入してください。
- ◆ 保険料の種類については、以下のとおりです。
 - 「現年度保険料」とは、納期限又は納期限後初めて到来する4月末日までに納付した保険料をいいます。
 - 「過年度保険料」とは、納期限後初めて到来する4月末日後から納期限から2年を経過したときまでに納付した保険料をいいます。
 - 「特例納付」とは、保険料が未納となっていた過去の期間について、特例的に事後の納付が認められた措置をいい、「特例納付保険料」とは、特例納付によって納付した保険料をいいます。実施期間は、昭和45年7月～47年6月、昭和49年1月～50年12月、昭和53年7月～55年6月です。
 - 「追納保険料」とは、保険料を免除された期間又は学生納付特例若しくは納付猶予の適用期間のうち、遡って納付することができる10年以内の期間分に係る保険料をいいます。
- ◆ 「付加保険料」とは、付加年金を受給するため、定額保険料に上乗せして納付することができる保険料をいいます。
- ◆ 「第3号被保険者」とは、国民年金の加入者のうち、厚生年金、共済組合に加入している配偶者(第2号被保険者)に扶養されている20歳以上60歳未満の人(年収が130万円未満の人)をいいます。
- ◆ 日本年金機構において請求のとおり年金記録が訂正可能な場合、厚生労働大臣(地方厚生(支)局長)の調査審議によらずとも、速やかに訂正処理を行うことができます。希望されるときは、同意欄に氏名をご記載ください。

■ 提出先・お問い合わせ先

この請求書 兼 申立書は、お近くの年金事務所にご提出ください。
 なお、ご不明な点がございましたら、年金事務所にお問い合わせください。

■ 備考

同 意 書

私は、厚生労働省地方厚生(支)局又は日本年金機構が下記の場合に私の個人情報を取得、利用又は提供することについて、同意します。

記

- 1 厚生労働省地方厚生(支)局の調査審議又は日本年金機構の確認調査に資する資料若しくは情報(国民健康保険に関する資料等を含む。)を保有する行政機関、現在又は以前の雇用主、金融機関、国民年金基金、厚生年金基金等(以下「行政機関等」といいます。)に対し、資料の提出、意見の表明、説明その他必要な協力を求める場合
- 2 国税又は地方税の、納付した保険料に相当する金額等が記載されている申告書等税務関係資料を課税庁から取得・調査する場合

以上

なお、上記の場合に、行政機関等又は課税庁が私の個人情報を厚生労働省地方厚生(支)局又は日本年金機構に提供することについて、私が同意している旨を、行政機関等又は課税庁に伝えて差し支えありません。

令和 年 月 日

厚生労働省地方厚生(支)局 殿
日 本 年 金 機 構 殿

申出人

住 所

氏 名

請求の概要(2-1)

【年金記録の訂正請求をされる方へ】

- ★ 年金記録の訂正手続は、請求をされる方の主張を十分に汲み取って、収集した資料を検討し、年金記録の訂正に関し、民間有識者で構成される地方年金記録訂正審議会の審議を踏まえて、公正な判断を行うこととしています。そのため、地方厚生(支)局又は日本年金機構においては、請求をされる方のご協力を得ながら、関連資料や周辺事情を幅広く収集するよう努めることとしており、調査に当たっては、請求をされる方から詳細に事情をお聞きすることとしています。
- ★ 本書類は、今後の調査・検討を行っていく上で極めて重要であり、請求の内容と直接関係ないように思える事柄でも、重要な要素となり得ることをご理解いただき、記入してください。記入欄に記入できない場合は、任意に別葉を作成していただき、なるべく詳細に記入してください。
- ★ 次ページ以降の質問について、該当する項目を○で囲み、必要事項を記入してください。

- 請求期間の保険料を納付していたとする理由について、納付を始めた経緯や納付されていた当時の状況が分かるように具体的に記載してください。
なお、納付方法等の詳細については、次ページ以降でお聞きします。

	年金事務所の確認欄									
<p>質問1 国民年金の加入手続について教えてください。(加入時から納付をしていたと主張される場合には、当該加入手続について、以下の質問にお答えください。)</p> <p>ア どのようなきっかけで加入手続をしましたか。(例:親に勧められて加入した)</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>イ 加入手続は誰が行ったか覚えていますか。</p> <p>1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない (1又は2が○の場合は、手続した方の氏名・あなたとの関係を記入してください。)</p> <p>手続した方の氏名 _____</p> <p>あなたとの関係 _____</p> <p><u>※以下は、ご自身で加入手続していない場合には、手続した方のご記憶の範囲で記入してください。なお、記入できない場合は、その理由を記入してください。(例:手続した方が亡くなっているため)</u></p> <p>(記入できない理由) _____</p> <p>ウ 加入手続した時期はいつ頃か覚えていますか。</p> <p>1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない (1又は2が○の場合は、時期を記入してください。)</p> <p>昭・平・令 年 月頃</p> <p>_____</p> <p>エ 加入手続はどこで行いましたか。</p> <p>1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない (1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">a 名称</td> <td style="width: 30%;">役所 役場</td> <td style="width: 40%;">本庁 出張所 支所</td> </tr> <tr> <td colspan="3">_____</td> </tr> <tr> <td>b その他</td> <td colspan="2">_____</td> </tr> </table> <p>オ 手続時又は手続後に国民年金手帳の交付を受けましたか。</p> <p>1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない (1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)</p> <p>a 年金手帳の交付を受けた。</p> <p>(交付時期) 加入手続の時・その他 (_____)</p> <p>(交付方法) 役所窓口・郵送・その他 (_____)</p> <p>(交付された年金手帳の色) (_____)</p>	a 名称	役所 役場	本庁 出張所 支所	_____			b その他	_____		<p>年金手帳の写し □添付 □未添付</p>
a 名称	役所 役場	本庁 出張所 支所								

b その他	_____									

<p>(保管状況) 現在持っている・現在持っていない</p> <p>b 交付を受けていない。</p> <p style="margin-left: 20px;">i 市町村が預かっている、預り証を受けた</p> <p style="margin-left: 20px;">ii 後日郵送するとのことだったが、送付されなかった</p> <p style="margin-left: 20px;">iii 何も受け取らなかった</p> <p style="margin-left: 20px;">iv その他 (_____)</p> <p>カ 国民年金の手帳の冊数について教えてください。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">(これまでに交付された冊数)</td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">冊</td> </tr> <tr> <td>(なくしてしまった冊数)</td> <td style="border-top: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: center;">冊</td> </tr> <tr> <td>(現在所持している冊数)</td> <td style="border-top: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: center;">冊</td> </tr> </table> <p>※質問2へつづく</p>	(これまでに交付された冊数)		冊	(なくしてしまった冊数)		冊	(現在所持している冊数)		冊	<p>存在する年金手帳の写し</p> <p>☐添付 ☐未添付</p>
(これまでに交付された冊数)		冊								
(なくしてしまった冊数)		冊								
(現在所持している冊数)		冊								
<p>(加入手続についての年金事務所記載欄)</p>										
<p>質問2 請求期間の保険料はどのように納められたか教えてください。</p> <p>(注)納付方法が異なる場合は、納付方法ごとに、別紙に記入して添付してください。</p> <p style="margin-left: 20px;">請求期間 : 昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで</p> <p style="margin-left: 20px;">請求期間 : 昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで</p> <p>ア 誰が納付したか覚えていますか。</p> <p style="margin-left: 20px;">1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない</p> <p style="margin-left: 40px;">(1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)</p> <p style="margin-left: 20px;">a 自分で納付した</p> <p style="margin-left: 20px;">b 家族などが納付した</p> <p style="margin-left: 40px;">納付した方の氏名 _____ あなたとの関係 _____</p> <p>※以下は、ご自身で納付していない場合には、納付した方のご記憶の範囲で記入してください。</p> <p>なお、記入できない場合は、その理由を記入してください。(例:納付した者が亡くなっているため)</p> <p style="margin-left: 20px;">(記入できない理由) _____</p>										

g 上記以外(例:コンビニで納付した)

オ 納付した後、領収書等の領収が確認できる資料を受け取ったか覚えていますか。

- 1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない
 (1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)

a 検認印が押された年金手帳を受け取った。

b 領収書を受け取った。

(受取時期) 納付した時・その他 (_____ 頃)

(受取場所) 役所の窓口・郵送・その他 (_____)

(保管状況) 現在持っている・現在持っていない

c 受け取っていない。

領収証書の写し
添付 未添付

カ 請求期間の保険料を納付したことが分かる資料がありますか。

(確 定 申 告 書) ない・ある (_____ 年分 ~ _____ 年分)

税理士等へ確定申告事務を委託していましたか。

a 委託していた。

委託先税理士等の氏名又は名称 _____

委託先税理士等の連絡先電話番号 _____ (_____)

b 委託していない。

(源 泉 徴 収 票) ない・ある (_____ 年分 ~ _____ 年分)

(課 税 証 明 書) ない・ある (_____ 年分 ~ _____ 年分)

(家計簿等の出納帳) ない・ある (_____ 年分 ~ _____ 年分)

(日 記 ・ メ モ) ない・ある

(そ の 他) (_____)

確定申告書の写し
添付 未添付

源泉徴収票の写し
添付 未添付
 課税証明書の写し
添付 未添付
 家計簿等の写し
添付 未添付
 日記等の写し
添付 未添付
 その他の資料
添付 未添付

キ 請求期間の保険料を一緒に納付していた方がいましたか。

- 1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない
 (1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)

a 一緒に納付した者がいる。

納付した方の氏名 _____ あなたとの関係 _____

生 年 月 日 明・大・昭・平・令 _____ 年 _____ 月 _____ 日

WMのハードコピー
添付 未添付

(※)「a 同居の親族がいた」と答えた方は、同居の親族の氏名、続柄を記入してください。

区分	氏名	続柄	氏名	続柄
① 配 偶 者				
② 父 ・ 母				
③ 子				
④ 祖 父 ・ 祖 母				
⑤ 孫				
⑥ 兄 弟 姉 妹				
⑦ そ の 他				

カ 保険料の納付について証言をしてくれる方がいますか。

a いる。

(一人目の方) 氏名 _____ あなたとの関係 _____

連絡先電話番号 () _____

この方はどのようなことをご存じですか。

(二人目の方) 氏名 _____ あなたとの関係 _____

連絡先電話番号 () _____

この方はどのようなことをご存じですか。

b いない。

キ その他、地方審議会の審議に当たり、参考となる事項などありましたら記入してください。

別 紙

請求期間が複数ある場合

	年金事務所の確認欄
<p>質問2 請求期間の保険料はどのように納められたか教えてください。</p> <p>(注)納付方法が異なる場合は、納付方法ごとに、別紙に記入して添付してください。</p> <p>請求期間 : 昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで</p> <p>請求期間 : 昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで</p> <p>ア 誰が納付したか覚えていますか。</p> <p>1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない (1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)</p> <p>a 自分で納付した</p> <p>b 家族などが納付した 納付した方の氏名 _____ あなたとの関係 _____</p> <p><u>※以下は、ご自身で納付していない場合には、納付した方のご記憶の範囲で記入してください。</u> <u>なお、記入できない場合は、その理由を記入してください。(例:納付した者が亡くなっているため)</u></p> <p>(記入できない理由) _____</p> <p>イ いつ・いくら納付しましたか。</p> <p>1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない (1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)</p> <p>a 定期的に納付していた (例:半年ごとに〇〇円納付したなど)</p> <p>_____</p> <p>b まとめて納付した</p> <p>① 納付した時期、金額を記入してください。(例:〇年〇月に△△円納付したなど)</p> <p>_____</p> <p>② まとめて納付された理由を記入してください。</p> <p>_____</p> <p>③ まとめて納付するための資金はどのように準備されたか該当記号を○で囲み、必要事項を記入してください。(複数選択可)</p> <p>i 手元にあったお金で納付した。 (当時、日常的に手元にあった金額) _____ 約 _____ 円</p> <p>ii 預貯金を引き出して納付した。</p>	

<p>(預金先) 預金先名 _____</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">銀行 金庫 組合 郵便局</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">支店 支所 出張所</p> <p>(種類) 通常預金・定額預金・普通預金・定期預金・その他 (_____)</p> <p>(名義) _____</p> <p>(引出額) _____ 円</p> <p>(引出しが記録された通帳・明細) 現在持っている ・ 現在持っていない</p> <p>iii お金を借りて納付した。</p> <p>(借入先) 名称・氏名 _____</p> <p style="text-align: center;">あなたとの関係 _____</p> <p>(借入額) _____ 円</p> <p>(借入書・金銭消費貸借契約書等) 現在持っている ・ 現在持っていない</p> <p>iv その他 (_____)</p> <p>c その他 (_____)</p>	<p>通帳等の写し</p> <p>☐添付 ☐未添付</p> <p>借入書等の写し</p> <p>☐添付 ☐未添付</p>
--	---

ウ どのように納付したか覚えていませんか。

1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない

(1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。複数選択可)

a 国民年金印紙を(_____)で購入し、国民年金手帳に貼り付けて納付した。

※ ()内に国民年金印紙を購入した場所を記入してください。

b 納付書に現金を添えて納付した。[納付書の様式を覚えていれば記入してください。]

(大きさ) _____ (色) _____ 色

(納付書をどのように入手したのか覚えていれば記入してください。)

c 納付書によらず現金のみで納付した。(a・b以外)

d 口座振替で納付した。

e 集金袋で納付した

f その他 (_____)

エ どこで納付したか覚えていませんか。

1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない

(1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。複数選択可)

a 市町村役場の窓口で納めた。

役 所 名 _____	役所 役場 _____	本庁 出張所 支所 _____
-------------	----------------	-----------------------

b 社会保険事務所(年金事務所)の窓口で納めた。

事 務 所 名 _____	社会保険事務所(年金事務所)
---------------	----------------

c 郵便局の窓口で納めた。

郵便局名 _____ 郵便局

d 金融機関の窓口で納めた。

金融機関名 _____ 銀行 金庫 支店
組合 _____ 支所 出張所

e 口座振替で納めた。

(預金先) 預金先名 _____ 銀行 金庫 支店 支所 出張所
組合 郵便局
(種類) 通常預金・定額預金・普通預金・定期預金・その他 ()
(名義) _____

f 集金で納めた。

(集金場所) 自宅・地区会館・その他 ()

(納付先) (当時)

市 町 村 職 員 (市町村名 _____ 氏名 _____)

自治会・婦人会役員 (団体等名 _____ 氏名 _____)

社会保険事務所職員 (事務所名 _____ 氏名 _____)

金融機関の集金人 (金融機関名 _____ 氏名 _____)

そ の 他 (_____)

不 明

(集金の仕方はどのような方法だったかその時の状況を記入してください。)

g 上記以外(例:コンビニで納付した)

オ 納付した後、領収書等の領収が確認できる資料を受け取ったか覚えていませんか。

1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない

(1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)

a 検認印が押された年金手帳を受け取った。

b 領収書を受け取った。

(受取時期) 納付した時・その他 (_____ 頃)

(受取場所) 役所の窓口・郵送・その他 (_____)

(保管状況) 現在持っている・現在持っていない

c 受け取っていない。

領収証書の写し
□添付 □未添付

<p>カ 請求期間の保険料を納付したことが分かる資料がありますか。</p> <p>(確 定 申 告 書) ない・ある (年分 ~ 年分)</p> <p>税理士等へ確定申告事務を委託していましたか。</p> <p> a 委託していた。</p> <p> 委託先税理士等の氏名又は名称 _____</p> <p> 委託先税理士等の連絡先電話番号 _____ ()</p> <p> b 委託していない。</p> <p>(源 泉 徴 収 票) ない・ある (年分 ~ 年分)</p> <p>(課 税 証 明 書) ない・ある (年分 ~ 年分)</p> <p>(家 計 簿 等 の 出 納 帳) ない・ある (年分 ~ 年分)</p> <p>(日 記 ・ メ モ) ない・ある</p> <p>(そ の 他) ()</p> <p>キ 請求期間の保険料を一緒に納付していた方がいましたか。</p> <p>1 覚えている 2 覚えているが定かではない 3 全く覚えていない</p> <p>(1又は2が○の場合は、該当記号を○で囲み必要事項を記入してください。)</p> <p> a 一緒に納付した者がいる。</p> <p> 納付した方の氏名 _____ あなたとの関係 _____</p> <p> 生 年 月 日 明・大・昭・平・令 年 月 日</p> <p> b 一緒に納付した者はいない。</p>	<p>確定申告書の写し □添付 □未添付</p> <p>源泉徴収票の写し □添付 □未添付</p> <p>課税証明書の写し □添付 □未添付</p> <p>家計簿等の写し □添付 □未添付</p> <p>日記等の写し □添付 □未添付</p> <p>その他の資料 □添付 □未添付</p> <p>WMのハードコピー □添付 □未添付</p>
---	--